

曲げ強度試験

曲げ強度試験は、側溝を図 - 1・図 - 2・図 - 3・図 - 4・図 - 5 のように据付けスパン(L)を共同検査規約による製品曲げ強度荷重の値とし、スパンの中央に荷重を加えて行い、製品曲げ強度荷重規格値表に規定する曲げ強度荷重において、側溝の端面に幅 0.05mm を超えるひび割れの状態を調べる。

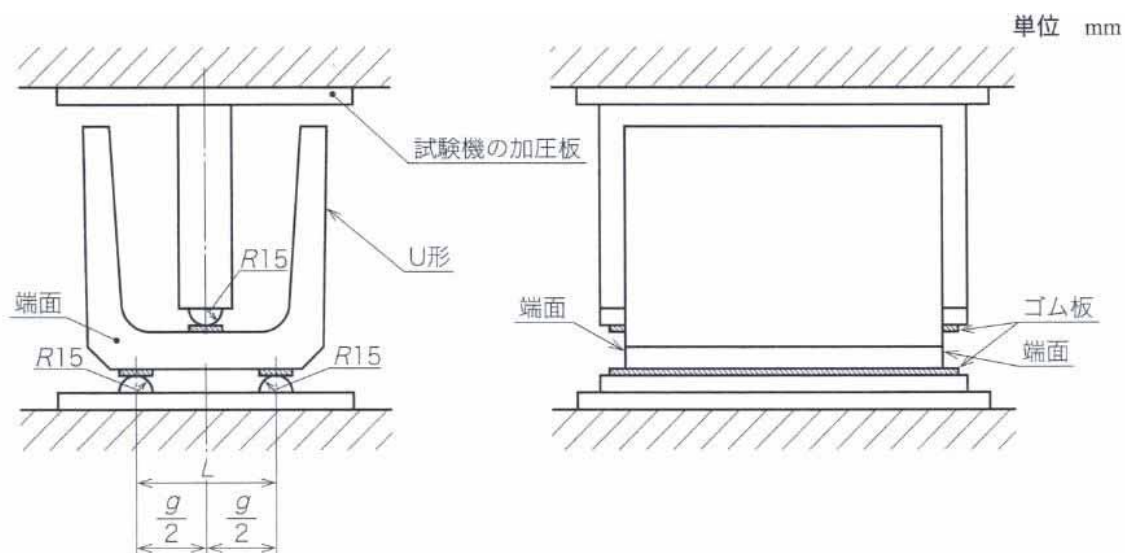
曲げ強度試験を行うときは、側溝の加圧面及び支持面にゴム板を挿入し、荷重が均等に分布されるようにしなければならない。

曲げ強度試験方法

推奨仕様 5 1 U形側溝

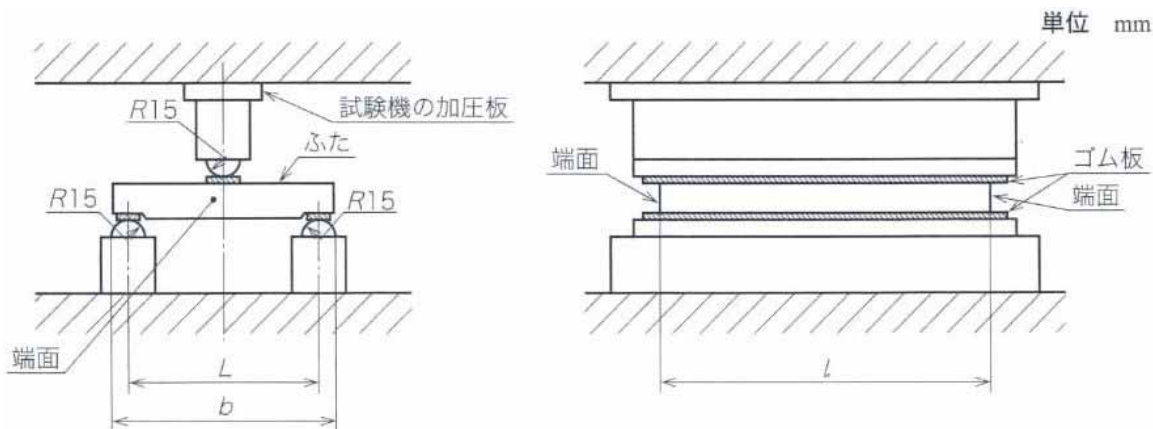
推奨仕様 5 2 上ぶた式 U形側溝 (本体)

図 - 1



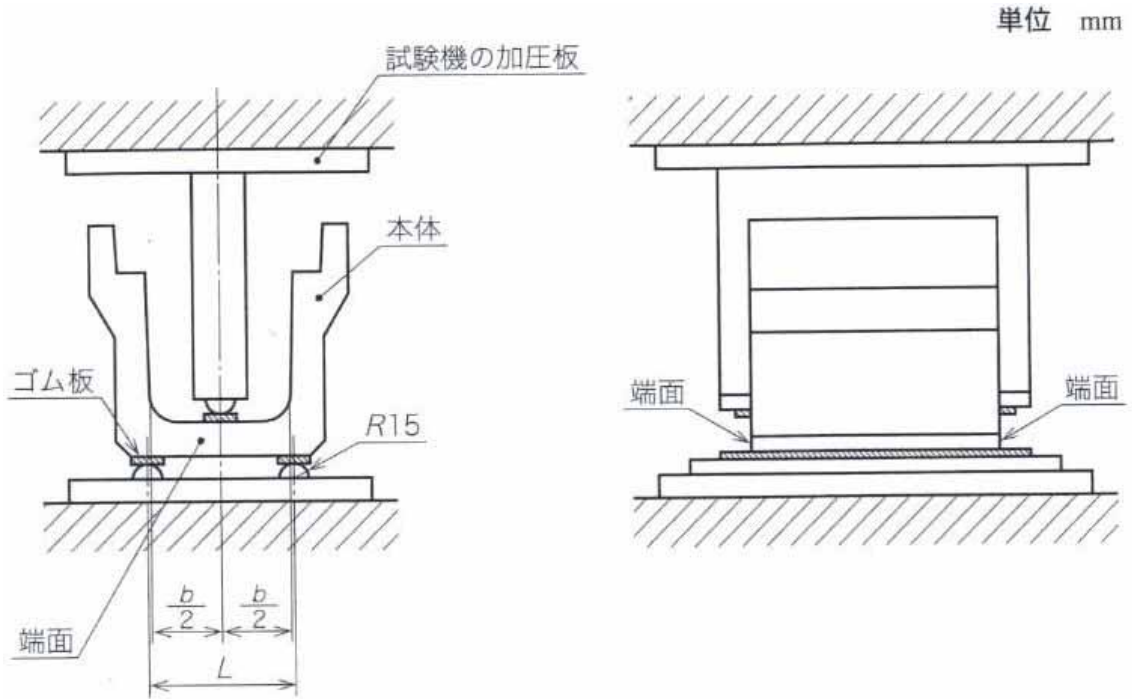
推奨仕様 5 2 上ぶた式 U形側溝 (ふた)

図 - 2



推奨仕様 5 3 落ちふた式 U 形側溝 (本体)

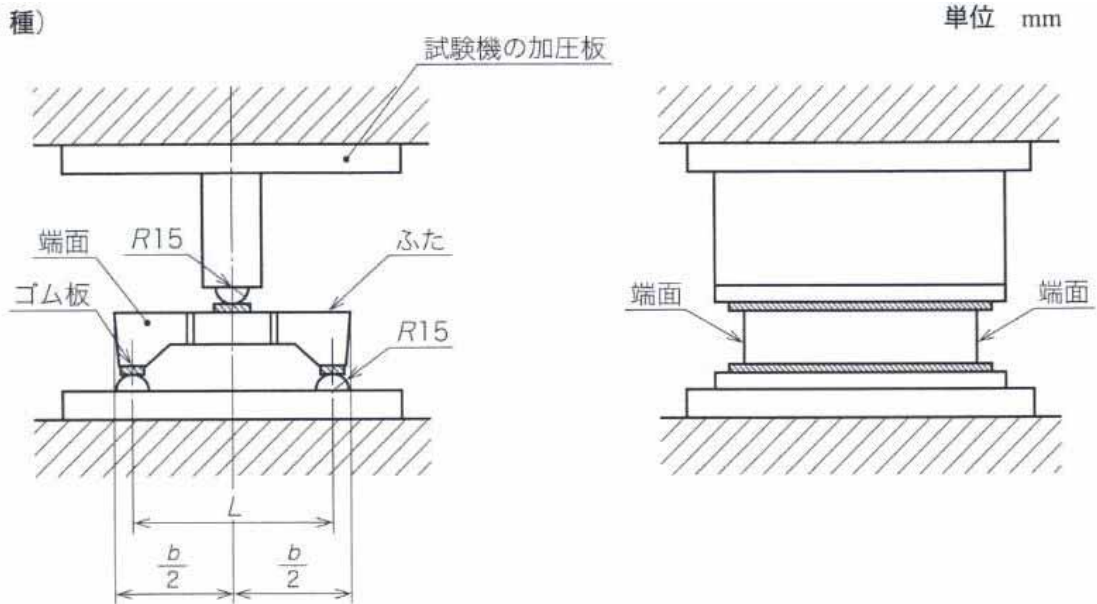
図 - 3



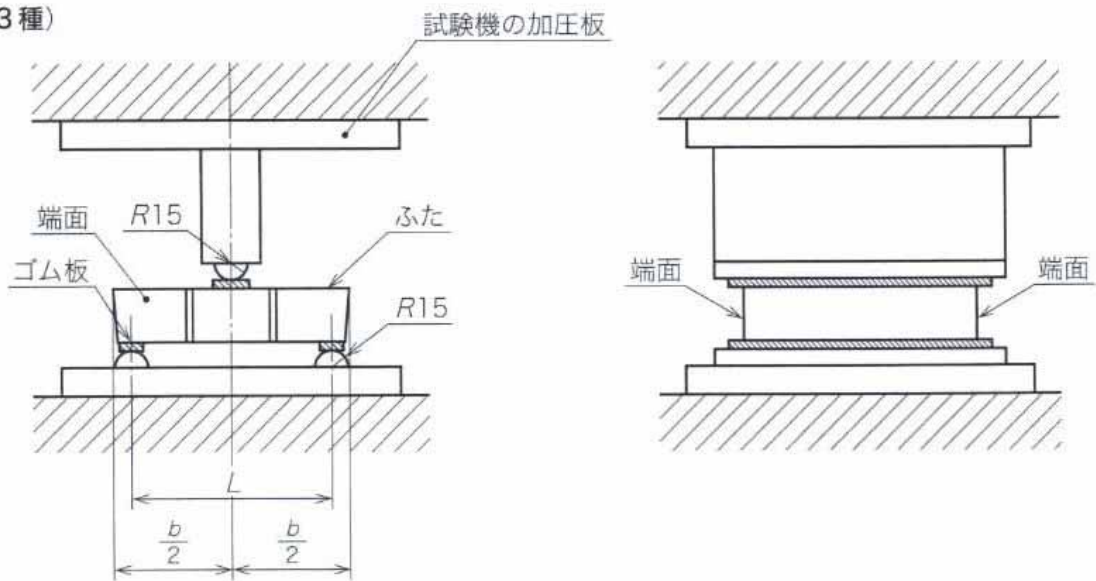
推奨仕様 5 3 落ちふた式 U 形側溝 (ふた)

図 - 4

(1種)

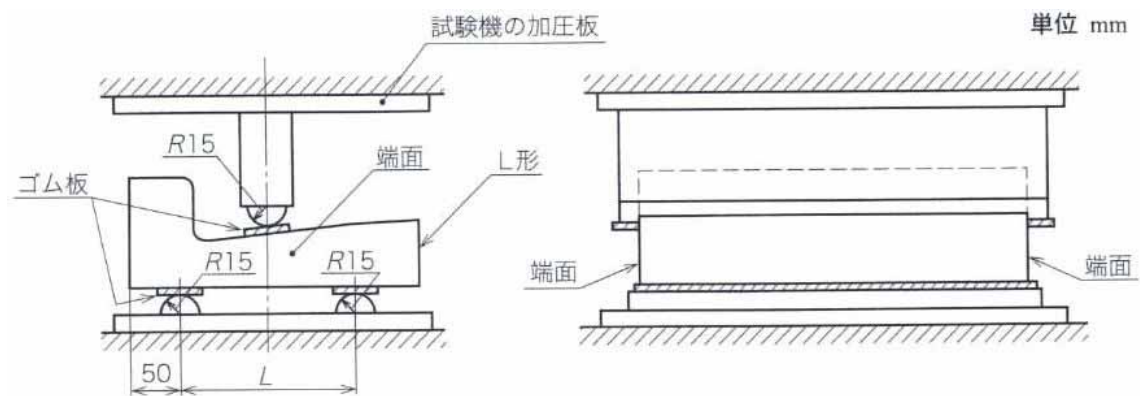


(3種)



推奨仕様 5 4 L形側溝

図 - 5



備考 試験機は、JIS B 7721 に規定する 1 等級以上の試験機又はこれと同等以上の許容値をもつものを使用する。